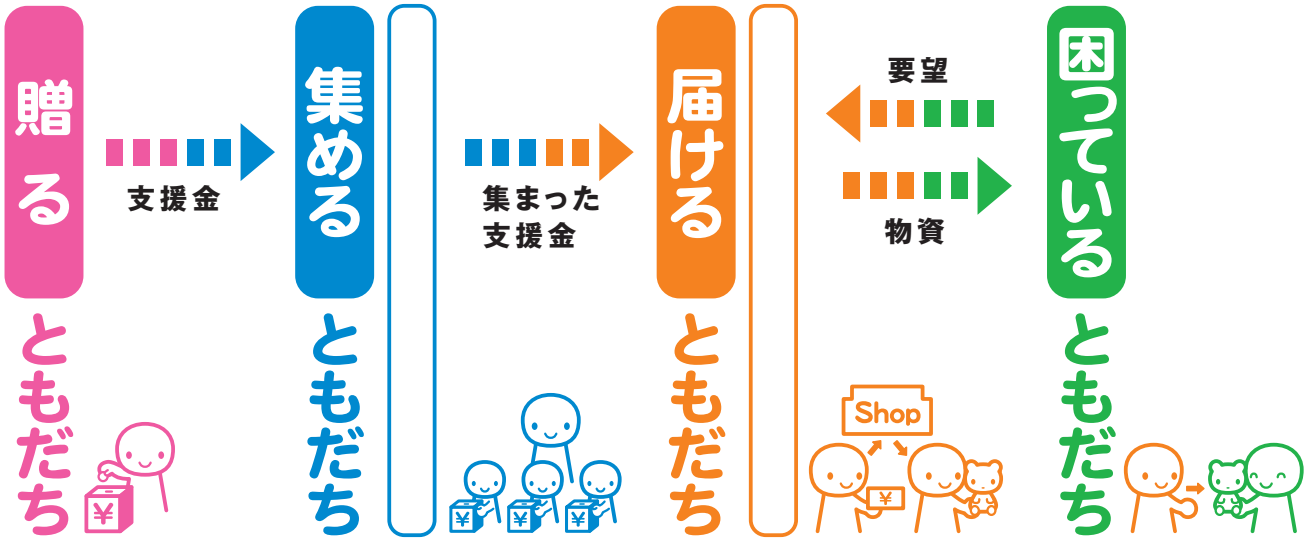
ともだちのともだちのともだち

みんなともだちプロジェクト



そりゃ、たくさんの人のためになりたいけど
募金の使われ方は不透明だし、
物資の偏りもひどいみたい。
でも、助けたい、なにかできることをしたい気持ちはマックスです。
この気持ちは、大切にしたいし
確実なものにしたい。
大きくなりすぎると、わからなくなっちゃうものです。
なので、これは、あまり、大きくしないプロジェクトです。
ぼくには、東北にともだちが数人います。
幸いなことに、彼ら全員無事でした。
でも、彼らには、ひどい災害にあったともだちがいます。
これは、そのともだちを支援しようというのが
基本です。

仕組み、流れを説明しましょう。
まず、被災地近くに住んでいる、動けるともだちを探します。
この人を**《届けるともだち》**といいます。
全国の**《贈るともだち》**から集まった支援金は、
《集めるともだち》を通じて、
《届けるともだち》に送られます。
《届けるともだち》は、**《困っているともだち》**から
必要なものを、聞いておきます。
そして、この支援金で
《届けるともだち》は、現地で、物資に替えます。
そして、**《困っているともだち》**に届けます。
そういう循環です。

集めるのは、支援金のみとします。
物資は、集めません。
ものは、現地、東北のお店で買うこと。
そのことで、少しでも東北の経済が動く。
このことが大事だと思っています。
物を送るんじゃなく、お金を送る。

これは、小さいプロジェクトです。
顔がわかる範囲がいいと思っています。
大きくするんじゃなく、
この数を増やすこと。
ともだちのともだちのともだちくらい。
広げすぎない。
その代わり、ほしいものが、ほしい人に確実に届く。
そのほうが、贈る方も支援した実感が持てる。
そこで、通い合える。(これ大事)
まず、現地で、動いてくれるともだちに声をかけましょう。
ここを、着実に増やすこと。
ただし、信頼できるともだちであること。
ここも、大切です。
ぜひ、このプロジェクトにご賛同ください。

みんなともだちプロジェクト　代表　中川ひろたか

みんなともだちプロジェクト　**検索**
http://www.songbookcafe.com/mintomo/

○○支部

支部説明が入ります。○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○

担　　当：○○○○
所 在 地：〒000-0000
　　○○○○○○○○○○
電話番号：000-000-0000
Ｆ Ａ Ｘ：000-000-0000
Ｍａｉｌ：○○○○○○○○○○

支援金受付口座

金融機関名：○○銀行
支　店　名：○○支店
口　　座：普通　0000000
口　座　名：○○○